

こんにちは。神戸大学 OB の大内です。国際協力研究科を卒業し、2012 年 4 月に新卒で GOOGLE に就職しました。

これまでの 10 年間の簡単な振り返りをしてみます

- 2012 - 2014 年: Google では職種別採用を行っているのですが、私は広告関連部門に応募しており、中小企業のお客様向けのカスタマーサポート部門に配属となりました。Google 検索や YouTube 等への広告出稿を通じて日本全国の様々なお客様のビジネスが成長できるよう、コンサルティング・サポートを行いました。
- 2014 - 2016 年: 2014 年には日本を代表する広告代理店様へのサポートを任されるようになり、社内の営業部門や製品部門と連携し世界でも初となるサポートの仕組みを立ち上げました。多くのお客様の問題を解決し感謝の言葉をいただいたこと、サポートを通じて様々なお客様のビジネスの成長に貢献できたことは大きなやりがいとなりました。
- 2017 - 2019 年: 一つの転機が訪れたのは 2017 年の 1 月のことです。日本の広告カスタマーサポート部門のチームリードとなり、マネジメントに参画することになりました。元々は京都教育大学で教育について学び学校の教員を目指していたこともあり、チームのマネジメントやコーチングはいつかしてみたい仕事でした。計 10 名程のチームメンバーとの 1 on 1 やチームミーティング等を通じて、個々のメンバーのスキル・キャリアの成長を促しつつ、チームとしての提供価値・顧客体験の向上を目指す。チャレンジングではありながらも非常に学びの多い経験となりました。
- 2019 - 現在: 2019 年 4 月以降は、Google アナリティクスというアクセス解析ツールのコンサルティング・サポートを行うチームのアジア太平洋地域のマネジメントを行っています。世界各国から集まった非常に多様性があり優秀なチームメンバーと、アメリカ、ヨーロッパ、アジアの各地域を率いる経験豊富な同僚のマネージャーと共に、プロダクトの改善、顧客体験の向上を目指して日々奮闘しています。

これから就職活動を行う学生の皆様へのアドバイスを 3 つお伝えします。

1. Comfort zone を出て挑戦する (世界を知る)
 - a. あなたにとっての Comfort zone (快適な場所) はどこですか? 学部・研究科の友人のグループ、研究室・ゼミ、部活・サークル、アルバイトなど様々かと思います。ぜひそこから一歩外に出てみてください。これまでは出会ったことがないような人や世界に触れてください。今までは緊張したり尻込みしてしまっていたようなことに挑戦してみてください。きっと自身の視野が広がり、成長できると思います。
 - b. 恥ずかしながら学部時代の私は、緊張しいで、交友関係は限られており、海外にも行ったことがないという非常に狭い世界を生きていました。そんな自分を変えようと、大学院では国内/海外から集まる多様な学生と共に学んだり、カンボジアの子ども達への海外ボランティアに参加したり、インドネシアで行われた学会で研究の発表をしたり等、色々なチャ

レンジをしました。これらの経験は自分を大きく変えてくれたと思います。

2. I can do it! (自信を持つ)

- a. あなたは自分に自信がありますか？これまでの人生や学生生活で誇らしく思える経験は何ですか？このことについては、他の人には誰にも負けないという強みや経験をぜひ学生生活の中で見つけてみてください。謙虚な姿勢は大切ですが、自信や自尊心を高く持つこともまた非常に重要です。
- b. 学部の頃の私は、特に誇れることもなく、自分なんか...と自信を持ってない学生でした。今思えば些細なことでしたが、初めての海外旅行に友人とイタリアへ行った際、宿を事前に予約せず、現地でイタリア語/英語で体当たりした経験が、どんな状況でもなんとかなるという自信を与えてくれました。その後は大学院での先のような色々な経験、チャレンジをする中で、I can do it - やれば出来るという思いが強くなりました。これは就職活動だけでなく現在の社会人生活においても生きています。

3. Proactive に情報を取得する/行動する

- a. あなたはどんな情報を、どのようにして取得していますか？情報過多の時代と言われますが、受け身の状態で情報を取得したり、行動していると、残念ながら情報格差が起こってしまいます。
 - i. 東京圏と東京以外では学生間で共有される日本の就職活動に関する情報の量や質に差があるように感じます。周りに Google の先輩がいなかったり、求人を見つけることが難しいこともあると思いますが、Google 検索を駆使して、自分から積極的に情報を取得してみてください。なんとか求人ページを見つけることが出来た時は本当にワクワクしたものです。
 - ii. 日本の学生と海外の学生との間にも違いがあるように感じました（例えば昨年シンガポールの学生を面接しましたが、非常に積極的/主体的でした）。今ではインターネット上で様々な情報を検索・閲覧できる時代です。ぜひ主体的に情報を取得し/行動してみてください。

これら3つの内容は入社後の今でも大切にしている内容です。

就職活動をする中では、素敵な社会人の先輩の話聞きワクワクしたり、競争相手の他の学生に大きな刺激をもらったり、面接で緊張したり、合否判定に不安になったり、お祈りメールに落ち込むこと等本当に色々なことがあると思います。一人では抱え込まず、六甲台就職相談センターを利用したり（浅田様に大変お世話になりました、ありがとうございます！）、先輩や友人と相談してみてくださいね。今後の皆様のご活躍を応援しています。

※本記事の内容は2012年当時に基づいており、採用状況は該当年度によって異なります。新卒採用の最新情報は Google 公式のキャリアサイトにてご確認ください。